

農地・水保全管理支払交付金

2012

活動レポート

～水土里の資源を次世代へ～



大分県農地・水・環境保全活動地域協議会

みどり 水土里の資源

水土里とは、「水」水路やため池、「土」田んぼ

共同活動について

農地や農業用水路、農道などの草刈りや補修などの保安全管理と農村環境の保全に地域ぐるみで取り組む活動を支援します。

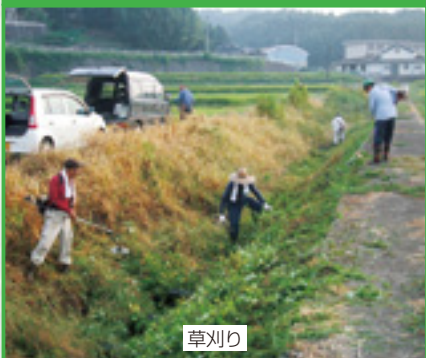
向 上

共 同

共同活動の取り組み

地域での取り組み内容

①農地の保全



草刈り

②施設の保全



水路の泥上げ

③施設の保全



水路の目地補修

④施設の保全



異常気象等後の応急措置

⑤地域ぐるみの環境活動



地域住民による景観形成

⑥地域ぐるみの連携



田んぼの学校の開催

を次世代へ

や畑、「**里**」農村を表しています。

活 動

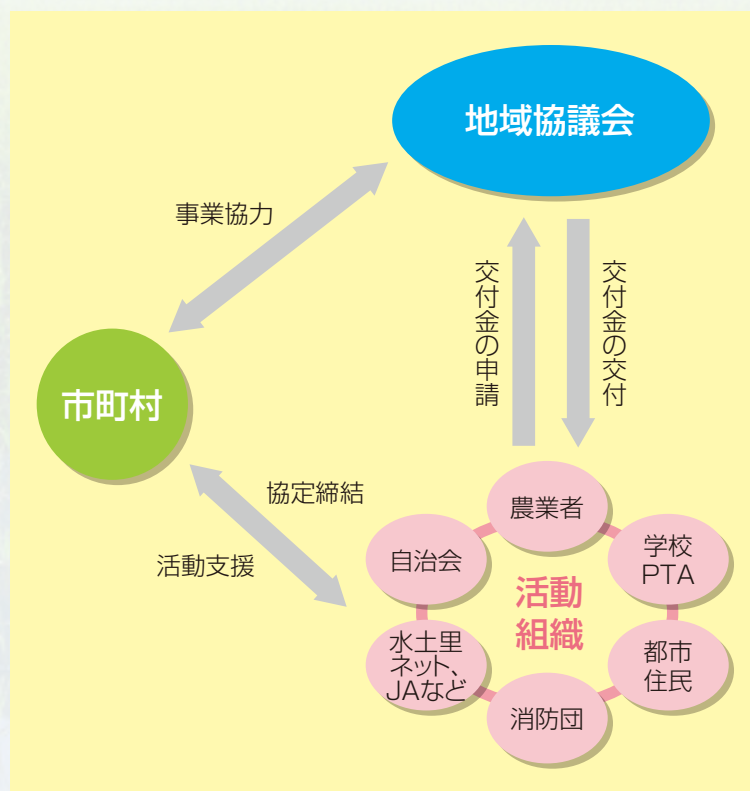
活 動

向上活動について

老朽化が進む農地周りの農業用水路、農道などの施設の長寿命化のための、補修や更新などに地域ぐるみで取り組む活動を支援します。

支援の仕組み

市町村と協定を結んだ活動計画に基づき、地域協議会から交付金が交付されます。



向上活動の取り組み

地域での取り組み内容

水路の更新



ゲートの更新



アスファルト舗装の補修



“わがムラ”を守る“我がムラの力”

農地や農業用水路など農村の資源は県民共有の財産であり、次の世代に良好な状態で引き継いで行く必要があります。しかし、高齢化や非農家との混住化が進み、農村の「まとまり」が弱まってきています。

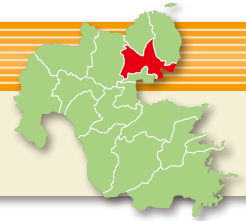
このような中、地域ぐるみで良好な農村環境の保全や農業用水路などの長寿命化を図る「農地・水保管理支払交付金」が平成19年度よりスタートし、5年が経過しました。これまで県下の493活動組織がそれぞれの地域で農地や農業用施設の保全管理など「わがムラを守る」取り組みを進めており、地域コミュニティの強化や集落機能の維持にも効果を発揮しています。

これらの中から6つの活動組織を紹介します。



杵築市

の だ ち く かんきょう ほ ぜん きょう ぎ かい 野田地区環境保全協議会



「明るく元気な地域力」

農業者がほとんどであったこの集落も今では混住化が進んでいます。しかしながら、代々引き継がれてきた農地や水路の保全管理に対する意識は非常に高く、非農家や集落外に住む親族も参加する活動となっています。

地域に活気があり、中でも老人会が中心となって菊、ひまわり、彼岸花の植栽や管理を行っている姿は活き活きとしており、「明るく元気できれいなムラづくり」が行われています。



対象資源

農 地

水田 14.9ha
畑 1.0ha

農業用施設

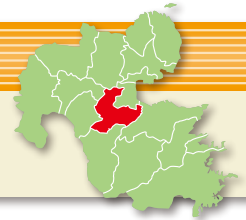
用排水路 6.4km
農道 2.8km
ため池 2ヶ所

組織の構成

○各農業者 ○杵築市野田自治会 ○野田老人クラブ

由布市

み ふね し げん ほ ぜん すい しん きょう ぎ かい 三船資源保全推進協議会



「三船を知って郷土愛を育む」

自治会と子供会によるゴミ拾いも兼ねた「三船井路と史跡をたどる散策勉強会」を開催し、水路の歴史や役割、地域の歴史を学ぶことで、郷土愛とみんなで地域環境を守る意識が高まっています。



しらとり会（女性会）と老人会との連携による植栽などを通じ、活動の活性化や交流が図られています。

また、農地の賃借は地域内に限るなど、みんなの手で「すばらしい三船の環境」を受け継いでいます。

対象資源

農 地

水田 29.3ha
畑 3.0ha

農業用施設

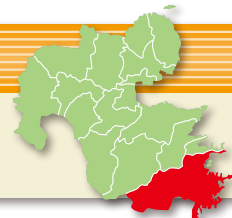
用排水路 7.5km
農道 1.0km

組織の構成

○各農業者 ○三船自治会 ○しらとり会 ○三船子ども会

佐伯市

しお み ち く ほ ぜん かん り くみ あい 塩見地区保全管理組合



「共同活動がもたらした営農組織の設立」

“なくなり” かけていた地域のまとまりが、草刈りや水路の補修、植栽などの共同活動により復活し、塩見地区の将来の話し合いも活発となり、10年先の農業を見据えた営農組織が設立されました。

農地・水での共同活動は地域全員で取り組み、堆肥の散布や育苗、防除などを含めた農作業は、地域の担い手を中心とした営農組織が受託する体制が確立され、農地が荒廃する不安が解消されています。



対象資源

農地

水田 19.9ha
畑 0.7ha

農業用施設

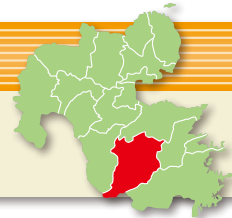
用排水路 10.2km
農道 2.6km

組織の構成

○各農業者 ○塩見地区自治会

豊後大野市

ほり け ひ ぐち のう ち みず たい さく きょう ぎ かい 堀家・樋口農地水対策協議会



「もち米の学校で新たなコミュニティの形成」

「道の駅あさじ」との連携による、もち米栽培や案山子作りを行う「もち米の学校」の開催は、市外からも家族を招き入れることで都市住民との新たなコミュニティが展開されています。また、この活動を通じて途絶えていた女性会の組織が復活し、地域の結束力も増えています。

子供が少なくなった地域に多くの子供が訪れることで、ムラに活気が生まれる一方で参加した家族の「第二のふるさと」になることを夢見ています。



対象資源

農地

水田 21.0ha
畑 1.6ha

農業用施設

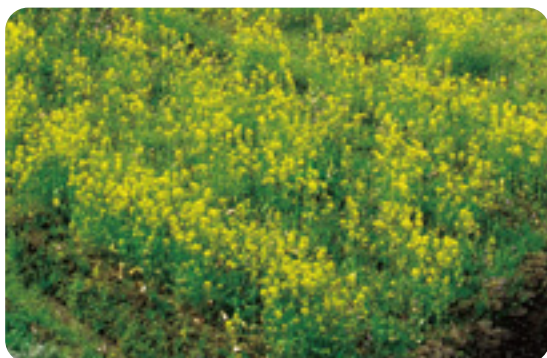
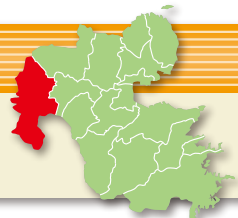
用排水路 14.3km
農道 9.9km

組織の構成

○各農業者 ○下野自治会堀家支部 ○下野自治会樋口支部
○朝地町土地改良区 ○火振井路管理組合
○若宮井路堀家地区管理組合

日田市

いけ べ み いけ ち いき し げん ほ ぜん くみ あい 池辺・三池地域資源保全組合



「地域のまとまりで持続性のある農業へ」

農家のみで行われていた水路管理も非農家の参加が定着し、老人会や子供会との連携による菜の花やひまわりの植栽は、地域の景観づくりの意識向上と世代を超えて地域のまとまりが広がり、今後はレンゲの播種やカバープランツ*の導入も考えています。

専業農家のいない池辺・三池地域においては、今後の離農による農地の荒廃が深刻であり、活動を通じた地域のまとまりによって集落営農への取り組みを進めようとしています。



対象資源

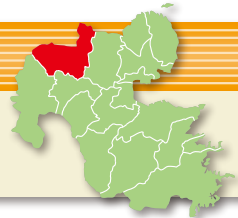
農地	水田 15.8ha 畑 0.1ha	農業用施設	用排水路 7.5km 農道 2.0km
----	----------------------	-------	------------------------

組織の構成

- 各農業者
- 池辺町自治会
- 三池町自治会
- 池辺町老人会
- 三池町老人クラブ
- 池辺子供会
- 三池町子供会
- 池辺土地改良区
- 車井堰水路管理組合
- 矢石石井堰水路管理組合
- 向田井堰水路管理組合

中津市

ひ やま じ なか ぐみ かん きょう ほ ぜん かい 樋山路中組環境保全会



「リーダーが牽引する新しい農村のかたち」

典型的な中山間地域である樋山路中組地域では、田んぼの法面に草刈りの省力化のためのカバープランツ*や安全対策として小段を設置し、また湿田となる山際には湧水処理、そして鳥獣対策として防護柵を共同で効率的に管理するなど、リーダー発案のもと、事業が効果的に活用されています。



福岡から学生ボランティアが継続的に訪れ、また関東から移住者の受入れを行うなど、地域外と良好な関係を築いている「新しい農村のかたち」と言えます。

農業の受け皿となる営農組合では、無農薬、無化学肥料により米づくりが行われ、高付加価値をつけて販売しています。

対象資源

農地	水田 13.3ha	農業用施設	用排水路 9.0km 農道 3.0km
----	-----------	-------	------------------------

組織の構成

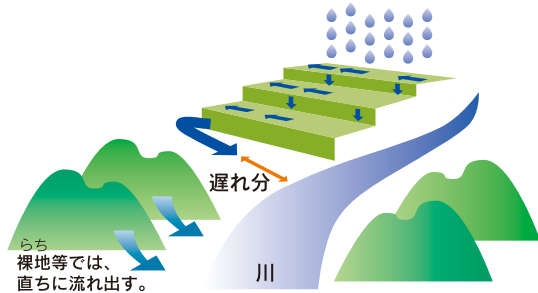
- 各農業者
- 農事組合法人樋桶の郷
- 樋山路中組自治会
- 青空会

*カバープランツ：背丈が低く地を覆うように育つ植物のことで、草刈り作業の省力化が図られます。

農業・農村の多面的機能

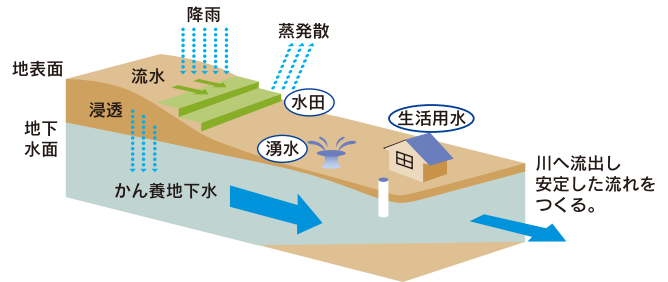
農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な米や野菜を作るだけでなく、洪水を防ぎ、地下水を養い、やすらぎの場となるなど大切な様々な恵み（多面的機能）をもたらしています。

●洪水防止機能（ダム役割）



水田は、雨水を一時的に貯えることができるため、一気に川に流れ込むことはなく、洪水の危険を減らしてくれます。

●水資源かん養機能（水の浄化と地下水をつくる）



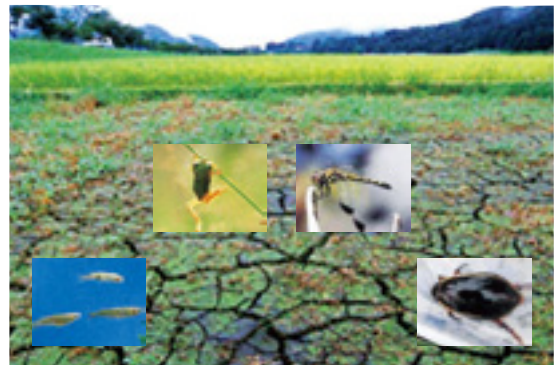
水田に貯められた水は、徐々に浸透して地下水になり、生活用水や工業用水として利用されます。

●土砂崩壊防止機能（土砂崩れを防ぐ）



耕作放棄された農地は降雨時の浸食により、法面の崩壊など災害が発生しやすくなります。

●生物多様性保全機能（生き物のすみかになる）



農業生産活動を行わないことで、水生生物などの生きものが減少することとなります。

農地や農業用施設の保全

農村環境の保全

農地・水保全管理支払交付金

農村の協働力によって、将来にわたって適切に保全管理されることで、持続的農業の発展と多面的機能が発揮されます。

お問い合わせ

■地域協議会
大分県農地・水・環境保全活動地域協議会
TEL 097-536-6631

■県の機関
大分県農林水産部 農村整備計画課 農村環境保全班
TEL 097-506-3713

市町村の機関については農政担当窓口にお問い合わせください。